

田辺市議会だより

発行 / 田辺市議会 編集 / 広報委員会

令和4年
(2022年)

2 月号

第6回（12月）定例会 令和3年度田辺市一般会計補正予算 などを可決



【目次】

- 主な議案の内容、令和2年度決算
..... P 2
- 議決結果、採決賛否一覧 … P 3～4
- 一般質問 P 4～6
- 請願の採択、意見書ほか P 7
- 第1回（3月）定例会予定ほか … P 8

表紙の写真

1月9日（日）に令和3年度「成人の日」記念式典が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で2年ぶりの開催となった今回は、参加人数の縮小や時間短縮などの感染予防対策を取った上での実施となりましたが、新成人の皆さんの晴れやかな姿とともに成人としての決意が述べられる中、新たな門出をお祝いしました。

第6回(12月)定例会

令和3年第6回(12月)定例会は、11月29日から12月21日までの23日間の会期で開催し、市長提出議案34件を全て原案のとおり可決しました。(人事案件については異議なし)

このうち、子育て世帯臨時特別給付金に係る一般会計補正予算(第8号及び第9号)については、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、子育て世帯への支援を令和3年中に行うため、11月30日及び12月17日に採決を行い、いずれも全会一致で可決しました。

また、市長専決処分事項1件の報告を受けたほか、請願1件を採択し、同請願の採択に伴う委員会提出議案1件を可決しました。

本定例会では、12月8日及び9日の2日間にわたり、10人の議員が一般質問を行いました。

なお、第5回(9月)定例会で各常任委員会へ付託され、閉会中の継続審査となっていた令和2年度一般会計及び各種特別会計歳入歳出決算議案等16件については、全て認定及び可決しました。

主な議案の内容

補正予算

●議案第19号

一般会計補正予算(第7号)

3億3752万7000円

・議員期末手当の減額

△150万9000円

人事院勧告を踏まえ減額する。

・人件費の減額

△484万1000円

人事院勧告を踏まえ特別職や職員等の期末手当等を減額するほか、退職や人事異動等による。

・飲料水供給施設等整備事業費補助金

900万円

山村地域における生活環境の改善を図るため、簡易給水施設の整備に對して補助を行う。

●議案第33号

一般会計補正予算(第8号)

5億1101万円

●議案第34号

一般会計補正予算(第9号)

5億36万7000円

・子育て世帯臨時特別給付金

総額10億1137万7000円

(議案第33号及び34号は、いずれも子育て世帯臨時特別給付金に係る議案)

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、子育て世帯の生活を支援するため、子育て世帯臨時特別給付金を支給する。

対象となる市民に対し、速やかに給付を行うため、全て現金給付として、10万円を一括給付する。

令和2年度各種会計歳入歳出決算

各常任委員会での主な質疑についてお知らせします。

※委：委員からの質疑、市：市当局の答弁を表しています。

総務企画委員会

地域公共交通網形成計画推進事業について

【委】現在の状況と今後の取組は。

【市】令和元年度に策定した本計画を踏まえ、地域力ルテを作成して地域ごとの状況をまとめた。現在、各地域を回り課題の洗い出しを行っており、今後は、NPO法人等による有償運送や、より使いやすい住民バス

の運行形態の実現など、課題解決に向けた取組を進めていく。

【委】高齢社会において交通に関わる問題が切実なものとなっている。市民の意見を聞き、課題解決に取り組まれない。

産業建設委員会

森林環境譲与税活用方法について

【委】今後の活用方法は。

【市】今年度完成予定の森づくり構想を活用し、森林整備や公共施設の木質化等、木材利用の新たな施策を構築するとともに、林業を担う若年層の雇用確保にも活用していきたい。

【委】森林環境譲与税を活用し、振興山村地域外の里山の整備についても今後検討されたい。

文教厚生委員会

スクールサポートスタッフについて

【委】次年度以降のスクールサポートスタッフの方向性は。

【市】令和2年度は県費による配置のほか、地方創生臨時交付金を充当し配置していた。令和3年度は、財源の変更があった市費による分は消毒作業員という形で配置を進めている。令和4年度以降も、学校業務の改善に向け配置していきたい。

議決結果

第6回（12月）定例会

件 名		議決結果
5定議案第14号	令和2年度田辺市一般会計歳入歳出決算について	認定 (賛成多数)
5定議案第15号	令和2年度田辺市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について	
5定議案第16号	令和2年度田辺市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について	
5定議案第17号	令和2年度田辺市介護保険特別会計歳入歳出決算について	
5定議案 第18号～27号 (10件)	令和2年度各種会計歳入歳出決算 田辺市分譲宅地造成事業特別会計・田辺市同和对策住宅資金等貸付事業特別会計・田辺市農業集落排水事業特別会計・田辺市林業集落排水事業特別会計・田辺市漁業集落排水事業特別会計・田辺市戸別排水処理事業特別会計・田辺市診療所事業特別会計・田辺市駐車場事業特別会計・田辺市木材加工事業特別会計・田辺市四村川財産区特別会計	認定 (全会一致)
5定議案第28号	令和2年度田辺市水道事業会計利益の処分及び決算について	可決及び認定 (全会一致)
5定議案第29号	令和2年度田辺市特定環境保全公共下水道事業会計利益の処分及び決算について	
6定議案第1号	田辺市職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決 (賛成多数)
6定議案第2号	田辺市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
6定議案第3号	田辺市職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正について	
6定議案第4号	田辺市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	
6定議案第5号	田辺市過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の制定について	
6定議案第6号	田辺市キャンプ場条例の一部改正について	
6定議案第7号	田辺市立学校給食共同調理場条例の一部改正について	
6定議案第8号	工事請負契約の締結について（広井原宮代線道路災害復旧工事）	
6定議案第9号	工事請負変更契約の締結について（田辺市庁舎新築に伴う既存建物解体工事）	
6定議案第10号	訴えの提起について	
6定議案第11号	損害賠償の額の決定及び和解について	
6定議案 第12号～18号 (7件)	指定管理者の指定について 田辺市大塔富里温泉センター・田辺市大塔青少年旅行村・田辺市龍神ごまさんスカイタワー・田辺市龍神丹生ヤマセミの郷・田辺市大塔百間山溪谷キャンプ村・田辺市近露観光交流館・紀南文化会館	原案可決 (賛成多数)
6定議案第19号	令和3年度田辺市一般会計補正予算（第7号）	
6定議案第20号	田辺市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
6定議案第21号	令和3年度田辺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	
6定議案第22号	令和3年度田辺市介護保険特別会計補正予算（第2号）	
6定議案第23号	令和3年度田辺市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	
6定議案第24号	令和3年度田辺市四村川財産区特別会計補正予算（第1号）	
6定議案第25号	令和3年度田辺市水道事業会計補正予算（第2号）	
6定議案 第26号～32号 (7件)	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 岡本ミチ氏（再）・久保正博氏（再）・中村美恵氏（再）・前田恵子（再）・山下充洋氏（再）・廣岡 香氏（新）・松平恭子氏（新）	異議なし (全会一致)
6定議案第33号	令和3年度田辺市一般会計補正予算（第8号）	原案可決 (全会一致)
6定議案第34号	令和3年度田辺市一般会計補正予算（第9号）	

※議案番号の前の「5定」は9月定例会、「6定」は12月定例会を表しています。

※議案第〇号は市長提出議案です。

議決結果

第6回（12月）定例会

件 名		議決結果
6定請願第1号	インボイス導入に伴うシルバー人材センターへの支援に関する請願	採択 (全会一致)
6定発議第1号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

※議案番号の前の「6定」は12月定例会を表しています。※発議第〇号は議員・委員会提出議案です。

賛否が分かれた議案	議案の可否	紀新会					公明党			大志会			栄新会		くまのクラブ		清新会		日本共産党	
		安達克典	市橋宗行	宮井章	尾花功	塚寿雄	小川浩樹	加藤喜則	佐井昭子	浅山誠一	尾崎博文	松上京子	柳瀬理孝	北田健治	安達幸治	谷貞見	橘智史	福榮浩義	久保浩二	前田かよ
5定議案第14号～17号 ※議案名は議決結果参照	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	×	×	
6定議案第1号 田辺市職員の給与に関する 条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	×	×	
6定議案第19号 令和3年度田辺市一般会計 補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	×	×	

【○…賛成 ×…反対】 ※議長（北田健治）は議決に加わらないため斜線としています。

一 般 質 問

小中学生のタイピング能力向上について 柳瀬理孝議員

議 新型コロナウイルスの影響もあり、小中学校においてタブレット端末を活用したICT教育が推し進められている。しかし、統計調査によると、現状小中学生のタイピング（タブレットでの文字入力）は実用レベルではない。ICT教育の基礎となるタイピング能力向上の取組が必要ではないか。

市 市としてもタイピングの重要性は認識しており、文字を書く速度と同程度のタイピング速度を身につけてほしいと考えている。これを機会にタイピング能力の習得や向上に向けた取組を充実させていきたい。



地域公共交通網形成計画について 久保浩二議員

議 現在の地域公共交通網では、利用も限られ、高齢者が免許返納や車を手放すことができない。和歌山県内17市町村では免許自主返納の支援、特典を行っている。日高郡では、返納された方にタクシー、バスの利用券を1万円から2万円の範囲で助成されている。本市においても、ドアツードアの乗合タクシーなどのサービスも必要ではないか。

市 4町村の一部では乗合タクシー事業に近い運行形態で実施している。バス停まで遠いという課題は、バスやタクシーという単純な区分ではなく、地域の実情に合った方法の検討が重要と考えている。



※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

※編集の方針上、「」だ」「である」といった文体に統一しています。

一般質問

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

小学校における教科担任制の導入について 松上京子議員

議 小学校 5、6 年生を対象に導入される**教科担任制**の利点と課題は何か。また、小・中規模校の多い本市での導入の進め方についての考えは。

市 **教科担任制**は、授業の質の向上、中学校へのスムーズな移行、多面的な児童理解、教員の負担軽減などの利点がある一方、時間割編成の難しさや教員の配置などに課題がある。専科教員の加配がない場合は、かえって負担が大きくなる可能性もあり、導入するか否か、また導入した場合の指導形態など、学校の実態に合った進め方を検討したい。



本市のふるさと納税と企業版ふるさと納税について 尾崎博文議員

議 ほぼ横ばい状態が続いている受入寄附額を増やすための取組、他市町との差異化のポイントと本市の流出額についてお聞きしたい。また、現在 1 社しかない企業版ふるさと納税について応援企業を増やすための今後の取組は。

市 ふるさと納税については、根強いファンづくりにこだわりながら、手書きメッセージでのお礼や地道な PR 活動で増加に転じている。一方、他の自治体への寄附による市税の減少額も年々増加している。企業版ふるさと納税は、企業イメージ・価値の向上などを踏まえ、ストーリー性のある充当事業の選定など検討している。



各行政局の未来像について 安達幸治議員

議 各行政局はどのような未来像を描いているか。また、現在の施策はどうか。

市 行政局は、旧町村の住民サービスの拠点として諸課題に取り組んでいる。本宮行政局は、過去の災害の教訓から防災を柱とし、観光回復に向け熊野本宮大社を中心とした観光振興に取り組む。中辺路行政局は、世界遺産熊野古道を柱とした観光振興に取り組む。現在、旧二川小学校の活用にも力を入れている。龍神行政局は、「龍の里づくり事業」を進めており、「奥辺路」を観光資源として誘客につなげるなど観光施策に取り組む。大塔行政局は、熊野地区のキャンプ場の再オープンと熊野古道を中心とした地域の魅力づくりに努め、地域振興につなげたい。



本市指定の天然記念物について 宮井 章議員

議 平成 31 年の文化財保護法の改正により、これまでの保存に加えて活用という新たな視点が盛り込まれたが、今後のさらなる活用について市の考えは。

市 天然記念物をはじめとする文化財の価値を理解し、観光資源としての意味合いも含め、より魅力ある地域資源としての認識を深めながら、新たな活用に向け、庁内関係部局や関係機関と連携して取り組んでまいりたい。

議 古き良きもの、そして風景や環境までもが、ビジネスとして成り立つ大きな可能性を持つ時代である。今後とも「保存」に加えて積極的な「活用」に取り組んでいただきたい。



※編集の方針上、「〜だ」「〜である」といった文体に統一しています。

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

がん検診の受診率向上及びピロリ菌検査の実施について 浅山誠一議員

【議】 国では、がん検診の受診率の目標を 50 %としているが、市の受診率は 8 ～ 20 %程度とかい離がある。受診率向上に向けた取組を問う。

【市】 無料クーポンの配布、漫画や啓発記事での周知、未受診者への再勧奨ハガキの送付や電話勧奨などを行っている。

【議】 将来的な胃がん発生リスクを抑えるためにピロリ菌検査事業を導入する自治体が増えているが、市の見解は。

【市】 予防の観点では有効だが、死亡率減少効果を判断する証拠が不十分で対策型検診としては推奨されていない。国の動向を注視し、調査、研究したい。



産科医療体制について

小川浩樹議員

【議】 新宮圏域や有田圏域の総合病院では、産科医不足により出産ができない状況になっている。田辺圏域でも、同じことがいつ起こってもおかしくないと危惧している。将来にわたり、地元で安心して出産ができる状況を継続するために、産科医確保を含めた取組が必要だが、市の考えは。

【市】 県は医師確保計画の中で、安心して産み育てることができる医療提供体制を堅持するとしており、市としても引き続き産科医確保のために国や県へ要望してまいりたい。



災害時の孤立防止対策について 谷 貞見議員

【議】 現在、林道安川大塔川線が不通のため、災害時に本市下川上地区の桑原橋から上流域の集落が孤立する恐れがある。箕谷橋までの安川左岸に道路を開設する重要性について市の考えは。

【市】 県道対岸の道路整備については、市町村建設計画には林道の開設として位置づけられていたが、様々な事情から事業化に至っていない。多くの山間地を有する本市においては、土砂災害による集落の孤立対策は重要な課題であると認識しており、他の地区も含め、それぞれの地域の地理的状況等を踏まえ、研究・検討を深めてまいりたい。



学童保育の拡充と指導員の処遇改善及びサポート体制について 前田かよ議員

【議】 学童保育所が未設置の龍神及び本宮で毎年ニーズ調査をしてはどうか。

【市】 地域要望など状況を踏まえ、調査の実施を検討することは考えられる。

【議】 学童保育拡充には指導員の確保という難しい問題があるが、重要な任務にふさわしい**処遇の改善**が必要ではないか。

【市】 指導員には昇給があり、働きやすい環境づくりにも取り組んでいる。

【議】 困難を抱える子どもと接する指導員をサポートするため、小児の発達を専門とする**作業療法士との連携**を提案する。

【市】 指導員のサポートにどのような連携がよいのか調査研究していきたい。



※編集の方針上、「」で「」である」といった文体に統一しています。

請願を採択しました

今定例会に提出された1件の請願について、全会一致で採択しました。

また、この請願の採択により、文教厚生委員会から意見書の提出に係る議案が発議され、同じく全会一致で可決し、内閣総理大臣など関係機関へ下記の意見書を提出しました。

◆請願名

インボイス導入に伴うシルバー人材センターへの支援に関する請願

◆請願者

公益社団法人田辺市シルバー人材センター

◆紹介議員 安達 克典

◆請願書要旨

免税事業者であるセンター会員はインボイスを発行できないことから、インボイス制度が導入されることで、センターは仕入税額控除ができなくなり、新たな税負担が生じる。センター会員の手取り額が減少することなく、センターの安定的な事業運営が可能となるよう意見書の提出を要望する。

シルバー人材センターに対する支援を求める意見書

シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき設立された公的団体であり、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献している。

令和5年（2023年）10月に、消費税において適格請求書等保存方式（いわゆるインボイス制度）が導入される予定となっているが、同制度が導入されると、免税事業者であるセンターの会員はインボイスを発行することが出来ないことから、センターは仕入税額控除が出来なくなり、新たに預かり消費税分を納税する必要が生じる。しかし、公益法人であるセンターの運営は収支相償が原則であり、新たな税負担の財源はない。

人生100年時代を迎え、国をあげて生涯現役社会の実現が求められる中、報酬よりも社会参加・健康維持に重きをおいた「いきがい就業」をしているセンターの会員に対して、形式的に個人事業者であることをもって、インボイス制度をそのまま適用することは、地域社会に貢献しようと努力している高齢者のやる気、生きがいを削ぎ、ひいては地域社会の活力低下をもたらすものと懸念される。センターにとっては、新たな税負担はまさに運営上の死活問題である。

消費税制度においては、小規模事業者への配慮として、年間課税売上高が1,000万円以下の事業者は消費税の納税義務が免除されているところであり、少額の収入しかないセンターの会員の手取り額がさらに減少することなく、センターにおいて、安定的な事業運営が可能となる措置を要望する。

（意見書提出先）

内閣総理大臣、内閣官房長官、厚生労働大臣、財務大臣

一部事務組合議会議員の選出について

一部事務組合議会議員の補欠選挙を行い、それぞれ次のとおり選出されました。

- 田辺市周辺衛生施設組合議会議員（1人） 安達 克典
- 富田川治水組合議会議員（1人） 浅山 誠一

※一部事務組合とは、2つ以上の自治体が共同で事務を行うために設置した特別地方公共団体（地方公共団体の組合）です。

議 会 活 動 日 誌

令和3年 11月	【17日】新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会 【24日】議会運営委員会 【29日】本会議（1日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会 【30日】本会議（2日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、文教厚生委員会
12月	【8日】本会議（3日目）、議会運営委員会 【9日】本会議（4日目） 【10日】産業建設委員会、文教厚生委員会 【13日】総務企画委員会 【17日】本会議（5日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、文教厚生委員会、新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会 【21日】本会議（6日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会、広報委員会
令和4年 1月	【12日】広報委員会

議会日程の詳細や市議会だよりの内容等について、ご意見・ご質問等がありましたら、田辺市議会事務局までご連絡ください。

【連絡先】 田辺市議会事務局

〒646-8545 田辺市新屋敷町1

TEL 0739-26-9940（直通）

FAX 0739-25-5579

E-mail: gikai@city.tanabe.lg.jp

田辺市議会ホームページ

<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/>



◀ こちらからもホームページにアクセスできます

次回の「市議会だより」

5月号

（第1回（3月）定例会の報告）

令和4年第1回（3月）定例会の会期日程（予定）

第1回（3月）定例会の会期日程（案）をお知らせします。

日程は諸事情により変更される場合がありますので、恐れ入りますが、傍聴をご希望の場合は、議会事務局まで日時をお問い合わせください。

月	日	会議の内容
2	28	本会議1日目（現年度補正予算等関係議案の提案説明、新年度予算等関係議案の提案説明）
3	1	本会議2日目（新年度予算等関係議案の提案説明の続き、現年度補正予算等関係議案に対する質疑及び委員会付託）
	3・4	常任委員会（現年度補正予算等関係議案の審査）
	10	本会議3日目（現年度補正予算等関係議案に係る委員長報告、議案審議、一般質問）
	11	本会議4日目（一般質問）
	14	本会議5日目（一般質問、新年度予算等関係議案に対する質疑及び委員会付託）
	15～18	常任委員会（新年度予算等関係議案の審査）
	25	本会議6日目（新年度予算等関係議案に対する委員長報告、議案審議）

※ 本会議の開会予定時刻は、3月25日が午後1時、それ以外は午前10時です。

広報委員会
 委員長 松上京子
 副委員長 前田かよ
 委員 加藤喜則
 谷 貞見
 柳 理孝
 橋 智史
 安達 克典

今号をお読みいただきありがとうございます。いよいよ今年3月には、「第61回全日本花いっぱい運動大会」が田辺市で開催されます。公園で開催される運動会は、戦後まわが荒廃し人々の心に余裕が持てない中で、「社会を美しく・明るく・住みやすくする」そして、花を「通じて人々の気持ちを豊かに」との願いを込め、昭和27年に長野県松本市の小学校教員であった小松氏によって始められた運動会は、その後、多くの市民有志の共感と協力によって、日本全国さらには世界へと広がりをみせ、市民の運動の主役は、市であり、皆様一人一人です。義が、皆様の協力があるからこそ田辺大会の開催意義が、あると考える。花満開の田辺大会が開催できたいと思います。

（加藤）

編集後記